

高間区は77世帯、人口213人の小さな行政区です。年々子供会や少年団の人数が減り、高齢化が進んでいます。

平成22年度に「高間区地域づくり計画書」を策定し、「みんなが集う、ふれあい区 高間」を目指して事業に取り組んでいます。

平成23～25年度 安全安心な住みよい地域づくり事業

災害に備えて自主防災組織を結成し、訓練を行っています。区内には土のうを備蓄し、公民館の防災備品も整備しました。

また、区内の危険箇所を再点検し、老朽化した街灯のLED化や、消防水利の標識を設置しました。そのほか緊急連絡網の整備や防災訓練の実施などにより、徐々に区民の防災意識や、地域での助け合いの精神が高まっていると感じています。



平成26～28年度 花と緑あふれる地域づくり事業

区民が集う公民館となるよう、公民館やお宮周辺の除草・清掃活動や、広場の維持管理など、景観を整備してきました。今では大きな桜並木が地域の名所となり、花見を楽しめる場としてみんなから喜ばれています。そのほか、高間川やポケットパーク公園の除草・ゴミ拾いなど、地域の景観づくりに努めています。



平成29年度～ 地域の絆を大切に、笑顔とふれあいのある地域づくり

誰もが笑顔で、安心して暮らせる明るい高間区を目指し、「ふれあい夏まつり」や「さぎっちょ」など地域活動の充実に努めています。これらの事業は子どもの減少や高齢化に伴い、各種団体が協力して実施しています。



そのほかの特徴的な取り組み

町の地元施工制度を活用し、区役員や壮年会を中心に区内の未舗装道路を整備することで、地域住民から喜ばれています。今後も「自分達で出来ることは自分達で」を基本に、みんなで助け合いながら、誰もが「住んで良かった」と思える地域づくりに取り組みます。



「コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区では、区民が主役の特徴ある活動が行われています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第25回は「高間区」です。

がんばる！地域！

vol. 25

高間

SDGs (持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した 2030 年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

エスディーズ

SDGs : 目標 16 「平和と公正をすべての人に」

達成のために広川で頑張っている団体 ➡ 「広川町国際交流協会」

広川町国際交流協会は国際交流事業だけでなく、在住外国人の支援にも取り組んでいます。

広川町在住の外国人は 188 人 (2018 年 6 月時点)。約 100 人に 1 人が外国人です。「もし自分が外国人だったら」という視点で町を散策すると、さまざまな生活上の困難があることに気づきます。

自然災害が発生したとき、災害情報が読めない、避難所がわからないなど、在住外国人は多くの課題を抱えます。実はそれらの問題を解決するのは、ほかでもない日ごろの人と人のつながりです。

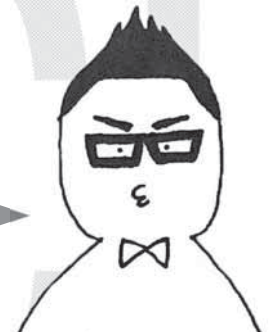
あいさつから始めましょう。「こんにちは」の一言で生まれる人間関係が地域の課題を解決します。



目標 16 は「どのような形態の暴力も大幅に減少させる」ことを目指しています。

暴力には、直接的でわかりやすい「直接的暴力」と、間接的で目に見えない「構造的暴力」があります。例えば、前者には殴るなどの行為、後者には言葉や文化の違いにより外国人が基本的サービスを受けられないこと、などがあります。

また、直接的暴力がない状態を「消極的平和」、構造的暴力などあらゆる暴力がない状態を「積極的平和」と呼びます。平和に見える日本社会ですが、「積極的平和」の視点で考えると、構造的暴力をたくさん抱えていることに気づきます。



国際理解教育推進員 糀広大

より深く知るために、このようなキーワードで検索してみましょう。

広川文芸

ひろかわ俳句会



釈迦御前春のかすみの墨絵かな
 初採りのとまと味よしかたち良し
 日替りの薬味たつぷり冷奴
 天草を干すや峠の茶屋の軒
 冷奴一丁でよしコップ酒
 三途の川手前で戻りひやそうめん
 ミントマトぎらぎらと籠に盛り
 梅雨深し伸びゆく草に足とらる
 スイカ割自信満々地面打つ
 一合の酒といさきの刺身かな
 おつまみは夫の好物きゅうりもみ
 夏料理笑顔飛び交ふ三回忌
 まくわ瓜笑顔とともに貰ひけり
 夏料理一品添ふる朝の膳
 早朝の日課の一つ草むしり

田川 義巳
 原口 あつ美
 柴田 眞理
 水本 艶子
 中村 良郎
 御厨とみ子
 美座 時朗
 一瀬砂智子
 結末 節子
 松延 朝美
 青木佳代子
 酒井 司
 山崎 陽子
 水本 辰次
 野中 勝美

櫻の会

梅雨晴れ間水を張られし水田に細波たちて陽ざしを撥ねる
 此の年も半分過ぎしみそか日は露しと柿の葉深し
 娘に替はり夜泣き覚えし孫抱けば舟漕ぐ吾を見上ぐる小さき目
 水色とローズピンクにみとれをり滴る雨の紫陽花の寺
 短冊の「一生青春」陽人持ち「かえる寺」よりエンジェルスマイル
 梅雨空に鮮やかに咲く変化粧蝶舞ふごとくわが庭に飛ぶ
 老ふたり人生笑ひが一番とひと日笑顔で目と目を合はす
 笹の葉がふりかすかに首を振る短冊ゆれて星へ届けと
 思ひ出を共有するって不思議だねあの男もこの女も校庭の中

野中 勝美
 池田 和代
 中倉 明美
 一瀬砂智子
 濱武美智子
 細川 徳子
 中嶋 玉子
 山崎美代子
 青木佳代子